

呼吸器外科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 (研究実施計画書と同じタイトルを記載してください)

自然気胸患者の胸腔ドレナージにより発症する再膨張性肺水腫に関する研究

研究機関 市立札幌病院 (診療科名)

呼吸器外科

研究責任者 診療科名／実施責任者名

呼吸器外科 櫻庭 幹

研究の目的

気胸患者に対する胸腔ドレナージ治療は一般的である。その合併症として再膨張性肺水腫がまれにはではあるが発症する。再膨張性肺水腫の危険因子に関し後方視的に探索する。

研究の方法

1 対象となる患者さん

2012年4月から2019年3月までに自然気胸の診断で胸腔ドレナージが実施された患者さん

2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、)、喫煙歴、胸腔ドレーンの種類、既往歴、入院中の使用薬剤など。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北11条西13丁目
市立札幌病院呼吸器外科